

癌化学療法 投与計画書

病名:HER2陽性の手術不能又は再発乳癌

プロトコル名: **パージェタ+ハーセプチン+weeklyパクリタキセル療法**

ケール目
 開始日
 次回予定日

身長 (cm) 体重 (kg) 体表面積 (m²)

		0.00
--	--	-------------

◆アルコール過敏症 ● 有 ○ 無

□パージェタとハーセプチンは必ず併用すること。

点滴:JMSニトログリセリン輸液セット、フィルター2型付き(JY-NF232R101)

薬品名	プロトコル標準量	投与量	経路	点滴時間・速度	コメント	DAY 1	...	DAY 8	...	DAY 15
						1月 0日		1月 7日		1月 14日
1 生理食塩液		50mL	点滴	15分		○				
2 生理食塩液		250mL	点滴	初回60分 2回目以降30分		○				
パージェタ (初回)	初回840mg 2回目以降420mg		点滴			○				
パージェタ (二回目以降)										
3 生理食塩液		250mL	点滴	初回 90分、 2回目以降30分		○				
ハーセプチン (初回)	初回8mg/kg、 2回目以降6mg/kg		点滴			○				
ハーセプチン (二回目以降)										
4 生理食塩液		100mL	点滴	30分		○		○		○
ポラミン(5mg)		1管	点滴			○		○		○
デキサート(6.6mg)		1.5瓶	点滴			○		○		○
ガスター(20mg)		1管	点滴			○		○		○
5 生理食塩液		250mL	点滴	60分		○		○		○
パクリタキセル	80mg/m ²		点滴			○		○		○
6 生理食塩液		50mL	点滴	15分		○		○		○

標準投与量

パージェタ

初回	840mg
2回目以降	420mg

ハーセプチン

初回	mg
2回目以降	mg

パクリタキセル

mg

※網掛け部分にご記入ください。

1サイクル: 21日⇒※(下記参照)
 投与日 :パージェタ day1
 ハーセプチン day1
 パクリタキセル day1,8,15
 サイクル数:規定なし

※何らかの理由により予定された投与が遅れた際には、以下のとおり投与することが望ましい。

パージェタ

- 1) 前回投与日から6週間未満のときには、420mgを投与する。
- 2) 前回投与日から6週間以上のときには、改めて初回投与量の840mgで投与を行う。なお、次回以降は420mgを3週間間隔で投与する。

ハーセプチン

- 1) 前回投与日から6週間未満のときには、6mg/kgを投与する。
- 2) 前回投与日から6週間以上のときには、改めて初回投与量の8mg/kgで投与を行う。なお、次回以降は6mg/kgを3週間間隔で投与する。